

寛文九年



丁巳新鐫釋説

馬琴子
述作

安倍清兵衛一代

八卦下



通油町
鶴屋版

2946
118



へ13特
2946
118

童戯乃謎こどもあそび

郭璞かくはく

袖中そうちゆう

漢金朝の辨物わんきんてうのべんぶつ

ハ京房きやうぼうが易傳えいでんよ見みつにつ釐甲らいかう乃の鬼おにトと節ふし多おほの

鼓つづみ以もつ試たまくく投な橋はしのの辻つじ占うらな勅しやく行ゆ乃の札しやくよよ多おほハハ陰房いんぼう

乃の失物しつぶつハハ草履そうりやうとと投なくく日ひ和わととトト鬼囊おにふくろの

待まち人ひとハハ糸いと縷いととと引ひくく筮木しぎぼくとと採とるる。陰陽いんやうメメクク

十五じふご牒てつ。三門さんもん物もののの三さんとと玉たま。十八じふはち變へんのの周しゆう易えきハハ。

八卦はつかふ合あ点てんののゆゆめめ作さくぞぞううぞぞもも封狐ふうこ乃の兕しトトハハ

そのとそのとかかくくハハ河かのの城じやう乃の返かへ魂たま紙し。白しろ半はん丁ていのの口くち占うらな

ハ書かき也なり。丁巳ていしハハくくハハ去こ。曲亭きよくてい馬琴ばきん識し





せしむるはまはりの
 ののいままのいままに
 さあつりの
 たれぞいそい
 一たんききとて
 さあつりのいそい
 さあつりのいそい
 わらじきき
 あんま
 さあつり

せしむるはまはりの
 ののいままのいままに
 さあつりの
 たれぞいそい
 一たんききとて
 さあつりのいそい
 さあつりのいそい
 わらじきき
 あんま
 さあつり



むしむるはまはりの
 ののいままのいままに
 さあつりの
 たれぞいそい
 一たんききとて
 さあつりのいそい
 さあつりのいそい
 わらじきき
 あんま
 さあつり

せしむるはまはりの
 ののいままのいままに
 さあつりの
 たれぞいそい
 一たんききとて
 さあつりのいそい
 さあつりのいそい
 わらじきき
 あんま
 さあつり

わが心は...
かみひらいて...
あんなの...
いかに...
あんな...
いかに...
あんな...
いかに...
あんな...
いかに...



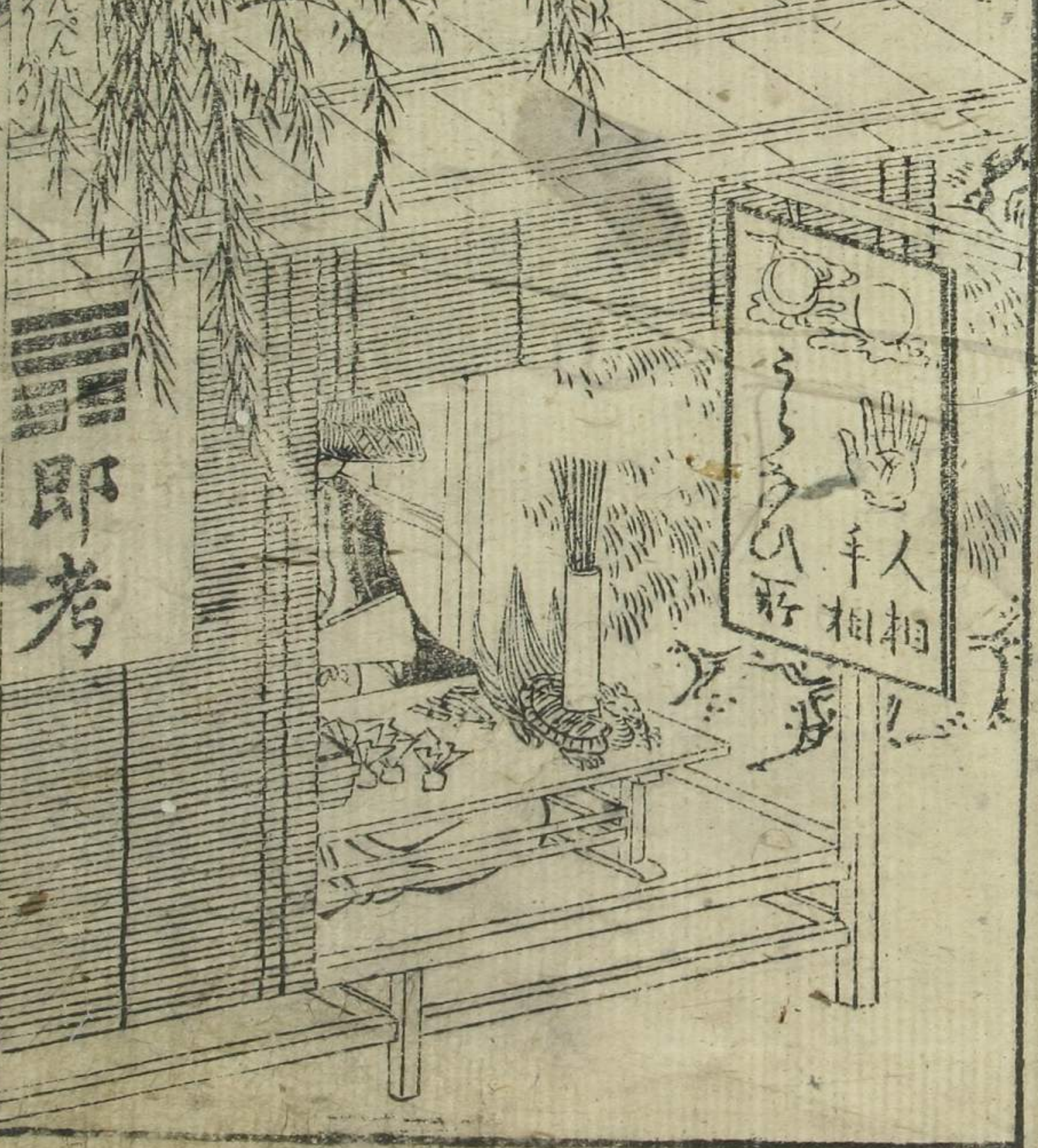
あんな...
いかに...
あんな...
いかに...

あんなの...
いかに...
あんな...
いかに...
あんな...
いかに...
あんな...
いかに...
あんな...
いかに...



あんな...
いかに...
あんな...
いかに...
あんな...
いかに...

一、人の相を
 二、人の相を
 三、人の相を
 四、人の相を
 五、人の相を
 六、人の相を
 七、人の相を
 八、人の相を
 九、人の相を
 十、人の相を
 十一、人の相を
 十二、人の相を
 十三、人の相を
 十四、人の相を
 十五、人の相を
 十六、人の相を
 十七、人の相を
 十八、人の相を
 十九、人の相を
 二十、人の相を

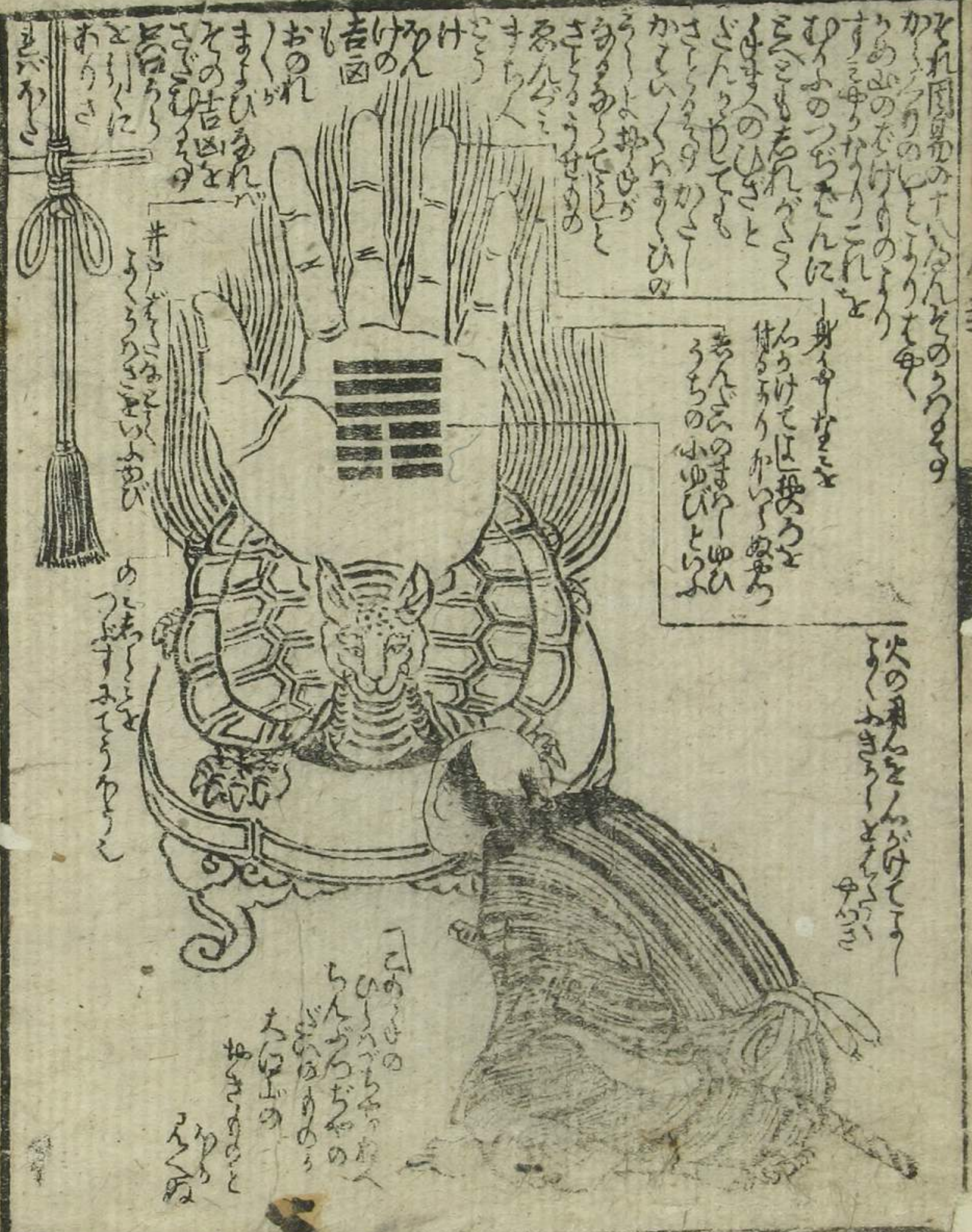


即考

一、人の相を
 二、人の相を
 三、人の相を
 四、人の相を
 五、人の相を
 六、人の相を
 七、人の相を
 八、人の相を
 九、人の相を
 十、人の相を
 十一、人の相を
 十二、人の相を
 十三、人の相を
 十四、人の相を
 十五、人の相を
 十六、人の相を
 十七、人の相を
 十八、人の相を
 十九、人の相を
 二十、人の相を



一、人の相を
 二、人の相を
 三、人の相を
 四、人の相を
 五、人の相を
 六、人の相を
 七、人の相を
 八、人の相を
 九、人の相を
 十、人の相を
 十一、人の相を
 十二、人の相を
 十三、人の相を
 十四、人の相を
 十五、人の相を
 十六、人の相を
 十七、人の相を
 十八、人の相を
 十九、人の相を
 二十、人の相を



これ何事か... (What is this...)

おのれのし... (One's own...)

火の... (Fire...)

井... (Well...)

この... (This...)



おのれのし... (One's own...)

「おま...」 (Oma...)

火性... (Fire nature...)

此... (This...)





